

科目名	医療安全			ナンバリング	INE353	授業形態	講義
対象学年	3年	開講時期	前期前半	科目分類	必修	単位数	1単位
代表教員	本多つよし	担当教員					

授業の概要	医療の目的は、疾病から人々を守り、救済(救命)することにある。医療が安全に行われなければ医療として成立しない。そこで、チーム医療の一員として医療や看護を安全に提供するための基本的な考え方(説明と同意IC、セカンドオピニオンの提供なども含む)、医療安全推進のための取り組み(病院における安全委員会組織、バイオハザード、スタンダードプレコーションなど)、医療事故発生時の対応について事例に基づき学修する。						
到達目標	医療安全とは何かを、しっかりと理解し、実臨床の現場で、それを役立てることができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	できるだけ、医療安全に関わる書を読むこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	<input type="radio"/>	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
	<input type="radio"/>	2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
	<input type="radio"/>	3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
	<input type="radio"/>	4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	<input type="radio"/>	5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
医療人として必要な医療安全というものを自分なりに理解することができる。	医療安全について、他人に自分の言葉で説明できるようにする。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○					
宿題・授業外レポート	○	○					
授業態度・授業への参加			○	○	○		
出席				○	○		出席、欠席とも評価として考慮に入れる

課題、評価のフィードバック	小テストやレポートについて受講生の前で解説し、みんなで議論する。
---------------	----------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	医療を取り巻く社会の状況①	医療を取り巻く社会的な状況について理解し、近年の社会の変化と医療の状況患者の権利と患者の権利について説明ができる。	
	第2回	医療を取り巻く社会の状況②	医の倫理と医療者の法律、医療環境、患者の人権尊重、危険要因、ヒヤリハット、ヒューマンエラーを理解し、医療現場における危険因子を説明できる。	
	第3回	医療事故、医療安全管理体制	国の医療安全管理指針、インシデント・アクシデント報告から、わが国の医療安全管理体制について理解し説明できる。	
	第4回	事例分析、問題解決法 医療事故の事例分析	SHELL・4M-4E・RCA他を理解し、発生した事例をもとに医療事故を分析し、発生要因と防止対策を説明できる。	
	第5回	リスクマネジメントと看護管理	看護部門におけるインシデントや看護部門における安全管理の取組について理解し、チーム医療の一員として医療や看護を安全に提供するための基本的な考え方、リスクマネジメントの実際を説明できる。	
	第6回	医療訴訟、医療メディエーション コンフリクトマネジメント	医療事故当事者の状況、再教育について理解し、医療事故防止のための取り組み、コンフリクト・マネジメントについて説明できる。	
	第7回	医療安全管理の課題	医療安全管理の今後の展望について理解し、事故後の病院の取り組み、患者参画型医療について説明できる。	
	第8回	まとめ	医療事故が発生する背景や要因を明らかにし、医療事故防止の為の安全管理のあり方について理解できる。	
	第9回			
	第10回			
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
		試験	試験は実施しない。	
授業の進め方	テキストに従って講義を行なう。小テストを実施することにもあり、レポート提出を求めることもある。			
授業外学習の指示	講義で使用するスライド資料は、manaba@IMUからダウンロードできる。予習(資料の閲覧)と復習を必ず行うこと。指定されたテキストを熟読すること。 (授業外学習時間: 毎週 分)			

教科書	1) ナーシング・グラフィカ看護の統合と実践(2):医療安全 第2版 (2013年) メディカ出版 2) 石川雅彦 RCA実践マニュアル 再発防止と医療安全教育への活用 (2017年) 医学書院 3) 医療安全推進のための標準テキスト 日本看護協会 (2013年)
参考書	
参考URLなど	
その他	